

※今月のみ受注の書目です。

資本主義論／現代思想

資本主義にとって倫理とは何か (仮)

(2025 年 8 月下旬刊行予定)

ジョセフ・ヒース (トロント大学教授) [著] /

庭田よう子 (翻訳家) [訳] / 瀧澤弘和 (中央大学経済学部教授) [解説]

四六判並製 / 304 頁 税込予価 3,520 円 ISBN978-4-7664-3039-4 C3033

 ココに注目!

- ・『反逆の神話』『啓蒙思想 2.0』ジョセフ・ヒースの最新作!
- ・資本主義は人間の倫理感になぜ違和感を与えるのか?
- ・資本主義への賛否にかかわらず、市場経済と会社の存在意義を明らかにする。

経済学の啓蒙書のほか、多岐にわたる分野での著書を発表してきたジョセフ・ヒース。今回は資本主義における「倫理」をどう考えるかという問題に取り組む。集団行動において他人と成果を分かち合い、協力するためにある市場や企業といった制度。そこで「倫理」は成立するのか、企業にとって「倫理」とは何かを問う。

対象 一般 (資本主義関連の読み物に興味を持つ読者)

類書 ジェイソン・ヒッケル『資本主義の次に来る世界』(東洋経済新報社)

【営業部からのおすすめポイント】

ジョセフ・ヒースは、NHK『世界サブカルチャー史 欲望の系譜』などでも特集され、そのバランスの取れた言論から、政治的立場を問わず人気を博す哲学者の1人です。近年は早川書房より『啓蒙思想 2.0』や『反逆の神話』が文庫化され、現代社会が直面する現象の深層を明確に描いていることから話題となりました。今作でも単純な反資本主義を批判しつつ、そのメカニズムを踏まえた上で議論を展開します。多くのファンを持つヒースの最新作、来月には選書フェアもご案内できるよう鋭意準備中です。ぜひ積極的な展開をご検討ください! (吉川)

 主要目次、注文書を裏面に掲載! ぜひご確認ください!

【主要目次】

序文

- 第 1 章 ビジネスにおける倫理
- 第 2 章 資本主義は「道徳的」か
- 第 3 章 資本主義における正義論
- 第 4 章 市場経済は正当化できるか
- 第 5 章 なぜ人々は競争を「不快」に感じるのか
- 第 6 章 市場経済は他に代わりようがない理由 (ワケ)
- 第 7 章 市場という「法」
- 第 8 章 応用編——なぜ不正直さは許されるのか
- 第 9 章 企業はどうして存在するのか
- 第 10 章 企業の中の倫理
- 第 11 章 なぜ会社の所有形態が重要なのか
- 第 12 章 企業内の倫理を支える構造
- 第 13 章 応用編——労働者と資本家の関係
- 第 14 章 検討すべき諸問題
- 第 15 章 結論



ご注文は FAX で！ 03－3451－3124



新刊委託	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
			ジョセフ・ヒース 著／庭田よう子 訳／瀧澤弘和 解説		
			資本主義にとって倫理とは何か (仮)	3,520 円	★★★★ ★★
			ISBN978-4-7664-3039-4 C3033		

★1つで「500部」を表します